

令和 3 年度

事業決算報告書



自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

公益財団法人生涯学習かめおか財団

目 次

事 業 報 告 書

事 業 の 概 要	1
役員等に関する事項	2
会議及び議決事項	4
事 業 実 施 報 告	6
生涯学習事業一覧〔別紙〕	9

決 算 書

貸 借 対 照 表	1 4
正味財産増減計算書	1 5
正味財産増減計算書内訳表	1 8
財務諸表に対する注記	2 0
附 属 明 細 書	2 2
財 産 目 録	2 3

事業の概要

昭和63年3月に西日本で初めての「生涯学習都市」宣言に基づき、市民の自発性に基づく自由かつ創造的な生涯学習を民間活力で推進する組織として平成2年3月に誕生した当財団は、平成24年度から「公益財団法人」として新たな歩みを開始し、公益法人としての運営体制や組織の一層の整備、充実を図り、この32年間、亀岡市・亀岡市教育委員会・生涯学習かめおか財団が三位一体となり、生涯学習のまちづくりを積極的に推し進めてきました。

平成10年9月には生涯学習の中核施設となる「ギャラリーかめおか」が竣工し、施設の維持管理を当財団が担うとともに、平成18年度からは指定管理者に指定されるなど令和2年度までの22年間、施設の管理運営と事業を一体化した生涯学習の推進に取り組んできました。

令和3年度からは、「ギャラリーかめおか」が生涯学習の拠点施設として、また住民交流の促進や賑わいの拠点として一層の施設機能が発揮できるよう指定管理者が一般社団法人かめおかコンベンションビューローに変更となりましたが、当財団のこれまでの経験とノウハウを活かした運営も必要なことから、財団職員を出向させるなど、互いに連携を図りながら事業展開を図りました。

具体的な生涯学習推進啓発事業については、講演会事業、文化・芸術振興事業、講習会事業、啓発・支援事業、国際交流事業、調査研究事業など、地域住民一人ひとりの生涯学習活動のサポート役として、“学びのきっかけ”となるプログラムを展開、実施してきましたが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、延期や中止を余儀なくされる事業もありました。

そうしたなかでも、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）を中心に開催し、参加者数を制限しながらではありましたが、それぞれの事業において多彩な講師の講義により、“生きる喜びを感じる場”、“次世代へ文化が継承される場”、“私たちの住む亀岡について理解を深める場”となりました。また、文化・芸術の振興と向上、生涯学習の啓発と支援なども新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮を行いながら、亀岡国際交流協会（当財団所管）や市内の関係団体とも連携し、様々な事業に取り組みました。

役員等に関する事項

令和３年度における役員、評議員、職員の数はおおりのとおりです。

(１) 名誉顧問、顧問

役 名	氏 名	職 名
名誉顧問	千 玄 室	茶道裏千家大宗匠
名誉顧問	井 上 満 郎	京都産業大学名誉教授、前生涯学習かめおか財団理事長
名誉顧問	田 中 英 夫	京都府議会議員、元亀岡市長
名誉顧問	栗 山 正 隆	前亀岡市長
名誉顧問	桂 川 孝 裕	亀岡市長
顧 問	大 槻 秧 司	医療法人亀岡病院会長
顧 問	楠 善 夫	有限会社楠新聞舗取締役会長
顧 問	黒 川 正 夫	株式会社カスタム相談役

(２) 理事

役 名	氏 名	職 名
理 事 長 職務代理者 副理事長	前 田 逸 郎	亀岡商工会議所顧問
副理事長	石 野 茂	亀岡市副市長
常務理事	田 中 博 樹	亀岡市生涯学習部長
理 事	井 口 雅 子	ジェンダーフリーのまちづくり会議代表
理 事	桂 政 彦	特定非営利活動法人みんなのネットワーク理事長 (かめおか市民活動推進センター登録団体代表)
理 事	川 勝 啓 史	亀岡商工会議所会頭
理 事	木 戸 邦 考	一般社団法人亀岡市観光協会副会長
理 事	關 本 卓 男	公益財団法人亀岡市スポーツ協会会長
理 事	高 瀬 尚 文	京都先端科学大学研究・連携支援センター 副センター長
理 事	田 中 秀 門	一般社団法人かめおかコンベンションビューロー専務理事
理 事	成 尾 陽	宗教法人大本 総務責任役員 祭務部長
理 事	山 本 隆 志	亀岡市自治会連合会副会長

(3) 監事

役 名	氏 名	職 名
監 事	狩 野 浩 二	京都北都信用金庫亀岡支店支店長
監 事	平 田 利 男	税理士法人平田会計事務所代表社員

(4) 評議員

役 名	氏 名	職 名
評 議 員	浅 田 信 仁	一般社団法人亀岡青年会議所直前理事長
評 議 員	鎌 田 雄 一 郎	亀岡市医師会会長
評 議 員	川 勝 眞 里	国際ソロプチミスト亀岡会長
評 議 員	神 先 宏 彰	亀岡市教育委員会教育長
評 議 員	木 村 好 孝	社会福祉法人亀岡市社会福祉協議会会長
評 議 員	工 藤 和 之	亀岡市社会教育委員会議議長
評 議 員	渋谷 幸 雄	亀岡経済同友会代表幹事
評 議 員	林 昭	亀岡市老人クラブ連合会会長
評 議 員	林 恵 子	亀岡文化交流協会相談役
評 議 員	古 林 峰 夫	公益財団法人亀岡市都市緑花協会理事長
評 議 員	益 田 也 寸 子	亀岡ボランティア連絡協議会幹事
評 議 員	松 岡 保 彦	亀岡ロータリークラブ会長
評 議 員	結 城 直 人	亀岡市PTA連絡協議会会長
評 議 員	渡 邊 栄 実 子	亀岡商工会議所女性会会長

令和4年3月31日現在

(5) 職員配置状況

事務局長	事務局次長	主 幹	主任	主 査	嘱 託
1	2 (内 1 名 出 向)	6 (内 4 名 出 向)	1	1	1
					合 計
					1 2

会議及び議決事項

(1) 監査の実施

令和4年5月9日 令和3年度決算監査を実施

(2) 会 議

①理事会議決事項

理事会開催	議案番号	件 名	議決年月日
第1回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団常務理事の選定について	令和3年4月1日
第2回 (書面決議)	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和2年度事業報告及び収支決算について	令和3年5月13日
	第2号	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	
第3回	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団理事長、副理事長並びに常務理事の選定について	令和3年6月9日
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団名誉顧問の委嘱について	
	報告 第1号	理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について	
第4回	報告 第1号	理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について	令和4年3月15日
	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和4年度事業計画及び収支予算について	
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団名誉顧問及び顧問の委嘱について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財団職員給与規程の一部改正について	

②評議員会議決事項

評議員会開催	議案番号	件 名	議決年月日
第 1 回	第 1 号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和 2 年度事業報告及び収支決算について	令和 3 年 6 月 9 日
	第 2 号	公益財団法人生涯学習かめおか財団理事の選任について	
	第 3 号	公益財団法人生涯学習かめおか財団監事の選任について	
	第 4 号	公益財団法人生涯学習かめおか財団評議員の選任について	

事業実施報告

生涯学習推進普及啓発事業（公益事業）

（１）講演会事業

三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）をはじめ、それぞれの講演会の理念に沿ったテーマ、講師を選定し、生涯学習の機会を提供しました。

令和３年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座の延期、中止を余儀なくされることもありましたが、参加者の人数を制限しながら可能な限り実施しました。

コレージュ・ド・カメオカは、前年度の生涯学習ゆう・あい賞「千登三子賞」受賞記念講演として京都文化創生機構理事長の富士谷あつ子さんに、また令和３年度生涯学習大賞『石田梅岩賞』受賞記念講演として一般社団法人沖縄県婦人連合会会長の與那覇信子さんにご講演いただく予定でしたが、それぞれ新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令により延期といたしました。

丹波学トークは、前年度から延期となった「道」をテーマにした地域学講座を全３回開催。研究者と地元の学芸員やガイドによるトークを行い、江戸時代の街道、明治時代の鉄道を通して地域の変遷について理解を深めるとともに、道端の何気ない場所に歴史の痕跡を発見する楽しさを学びました。

亀岡生涯学習市民大学は、「広げよう 学びの心 ～共に感じ 輝く未来へ進もう～」を年間テーマに、市民の運営委員会による講座として、多彩なジャンルの講師を迎え開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令により２講座を中止としましたが、事前申込による定員制とし、感染対策を講じて特別音楽講座を含め全７講座を開催しました。

３月には「第７回輝きフォーラム」を開催。“春旅”と題して、旅するようにまちの魅力を体験する企画を実施しました。ゆっくりまちを歩き、地元で作られたグラスや、地域の旬の食材を使った料理を解説付きで楽しみ、今、ここにしかない地域の魅力に出会う機会を提供しました。

（２）文化・芸術振興事業

実施運営委員会を中心に、生涯学習の成果発表と、芸術文化振興や交流の機会として例年、亀岡市民文化祭、亀岡市美術展を開催しています。

亀岡市民文化祭は、出演者数や客席の制限、場内の換気、その他の様々な感染防止対策を講じて１１月に開催。実施運営委員会と協力し、舞台発表２７団体、展示発表１３団体の参加により、約２年ぶりに文化発表の機会を実現することができました。

亀岡市美術展は、９月の実施に向け作品出展の募集案内を行っていましたが、８月に緊急事態宣言が発令され中止としました。

また、７月には隣接する京都市西京区との交流事業として七夕交流コンサートの開催を予定していましたが、合唱、オカリナ演奏による飛沫感染リスクなどを考慮し中止としました。

（３）講習会事業

講習会事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、不特定多数の参加者の密を避けることや、対面による指導が困難であることなどから、多くの参加者を募っての開催とはなりませんでしたが、ガレリアかめおか開館以来継続しているオカリナ演奏講座は少人数により感染防止対策を講じて開催しました。

（４）啓発、支援事業

市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、「生涯学習事業助成」により活動経費の一部を８件に対して助成するとともに、その他市民・団体の自発的生涯学習各種事業に対して積極的に後援を行うなど、多面的な支援をいたしました。

また、ホームページやFacebook、LINE等のSNSを活用し、随時に財団の事業展開、生涯学習の機会提供に関する広報に努めました。

(5) 国際交流事業

亀岡国際交流協会の事務局を財団が所管し、同協会と連携しながら様々な事業に取り組みました。

在住外国人の生活に必要な日本語支援を目的とする外国人のための日本語教室や、市民と留学生・外国人住民との交流事業、多様な文化を理解するための国際理解学習の実施、また令和2年11月にギャラリーかめおか3階に開設した「かめおか多文化共生センター」の運営を行い、生涯学習につながる多文化共生の地域づくりを推進しました。

また、姉妹都市・友好交流都市を再確認するワールドフェスタの実施、亀岡在住の外国人の紹介などをはじめとする亀岡の国際交流に関する情報誌として、「亀岡国際タイムズ」を年4回発行しました。

これらには協会会員や多くの市民ボランティアの皆様の協力により、大きな成果をあげました。

(6) 調査研究事業

「自発的生涯学習活動支援の展開について」をテーマに、財団の生涯学習助成制度について、過去の申請・交付状況から、その役割と課題について考察。近隣市町の助成制度との比較も交えて、解決とより効果的な運用方法について調査、研究し、申請書に事業の発展に向けた取り組みを記入する欄を設ける等、実際の制度に反映しました。

〔別紙〕

(1)講演会事業

【 コレージュ・ド・カメオカ 】

事業名	実施日	内 容	参加者数
(第84回) コレージュ・ド・カメオカ	10/10 (日)	第20回生涯学習ゆう・あい賞 『千登三子賞』受賞記念講演 「生涯学習支援50年の歩みから」 講師：富士谷あつ子さん (評論家・京都文化創生機構理事長) <u>※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため延期</u>	延期
(第84回) コレージュ・ド・カメオカ	2/12 (土)	第21回生涯学習大賞 『石田梅岩賞』受賞記念講演 「おきなわの女性と地域に根ざした活動」 講師：與那覇 信子さん (一般社団法人沖縄県婦人連合会 会長) <u>※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため延期</u>	延期

【 丹波学トーク 】「道」シリーズ

事業名	実施日	内 容	参加者数
丹波学トーク 第96回	7/10 (土)	シリーズ「亀岡道楽」 汽車が来た！～京都鉄道、22マイルの革命～	70名
丹波学トーク 第97回	8/8 (日)	シリーズ「亀岡道楽」 亀山宿事件帖～千客万来、山陰街道～	55名
丹波学トーク 第98回	11/28 (日)	シリーズ「亀岡道楽」 「幻の山金楼 ～曲がり角から大正・昭和の城下町へ～」	51名

【 亀岡生涯学習市民大学 】

事業名	実施日	内 容	参加者数
第1講座	6/26 (土)	「しあわせ寿命と健口～人生の後半を生き抜く知恵～」 講師：天野 敦雄さん(大阪大学大学院歯学研究科教授)	96名
第2講座	7/26 (土)	「太陽系46億年の物語 ～隕石やハヤブサ試料から紐解く「太陽系の年表」～」 講師：寺田健太郎さん(大阪大学大学院理学研究科教授)	111名
第3講座	8/21 (土)	「コロナの時代を生きる ～先人の経験に学ぶ～」 講師：松山 大耕さん(妙心寺退蔵院 副住職) <u>※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止</u>	中止

事業名	実施日	内 容	参加者数
第4講座	9/25 (土)	「祇園祭の創始と変遷 ～疫病退散のまつりから巨大都市祭礼へ～」 講師：八木 透さん(佛教大学歴史学部教授) <u>※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止</u>	中止
第5講座	10/30 (土)	「万葉びとが見た風景」 講師：垣見 修司さん(同志社大学文学部教授) 〔古典の日になむ講座〕	85名
第6講座	12/25 (土)	「知の体力 ―「よくできる」とはどういうことか」 講師：永田 和宏さん (JT 生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、歌人)	92名
第7講座	1/15 (土)	「目からウロコの日本史 ～学び続ける楽しさ～」 講師：河合 敦さん(歴史作家、多摩大学客員教授)	105名
第8講座	2/5 (土)	「亀岡生涯学習市民大学とともに ～上田正昭先生への思い～」 講師：黒川孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長)	55名
特別 音楽講座	3/19 (土)	「オーボエってどんな楽器？」 講師：河野美砂子さん(ピアニスト)、高山郁子さん(オーボエ奏者)、河野文昭さん(チェリスト)	70名

【輝きフォーラム】

事業名	実施日	内 容	参加者数
第7回 輝きフォーラム	3/26 (土)	“春旅”と題して、旅するようにまちの魅力を体験する企画を実施。ゆっくりまちを歩き、地元で作られたグラスや、地域の旬の食材を使った料理を解説付きで楽しみ、今、ここにしかない地域の魅力に出会う機会を提供しました。	27名

(2)文化・芸術振興事業

事業名	実施日	内 容	参加者数
亀岡市・京都市西京区都市間交流事業 七夕交流コンサート2021	7/4 (日)	亀岡市のオカリナグループと京都市西京区のシルフィード合唱団・室内楽団による交流コンサート。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に中止を決定。	中止

*実施運営委員会

事業名	内 容	鑑賞人数
第38回亀岡市美術展	市民の文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成と技術の向上など生涯学習の成果発表の場として実施に向けて運営委員会等を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月に緊急事態宣言が発令され中止を決定。 開催期間 9/11(土)～20(月・祝)	中止
第45回亀岡市民文化祭	市民の多様な芸術・文化活動など生涯学習の発表の場として実施。 開催期間 11/6(土)・7(日) 展示の部 13団体 200点出展 舞台の部 27団体 277名参加	1,000 名

(3)講習会事業

【オカリナプロジェクト】

事業名	実施回数	内 容	参加者数
オカリナ演奏講座	4月～3月 月2回	演奏講座 4コース *5月、9月は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講	324名
市民オカリナ演奏団		七夕交流コンサートの出演に向けた練習会 *新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため中止	中止

(4)啓発・支援事業 【共催・後援事業】

事業名	実施日	内 容	参加者・件数・登録団体数
各種生涯学習事業後援	年間を通して実施	市内の団体等が実施する生涯学習事業に後援を行った。	8件 (協賛・協力を除く)
かめおか市民活動推進センター	当センターが中間支援機能を発揮できるよう、運営のサポートをしている。		登録団体 100団体

【生涯学習助成事業】

申 込 団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
いのり	『クニトコタチ』～平和へのいのり～	100,000
書道研究 玄游会 戀華社中	戀華書展	100,000
田中 由子	箏&サククス コラボコンサート	76,000
カメオカアートボンチ	カメオカアートボンチ おみせでさくひんてん	27,000
亀岡おもしろ街歩き隊	おもしろ街歩き 亀岡の謎探し	100,000
舞舟源氏物語の会	京ことばで語る源氏物語	98,000
亀岡映画センター	スパイの妻、花のあとさき、いのちの停車場 上映会	100,000
坂本 信雄	「京都発 地域経済の再考」の出版	100,000
合 計	8件	701,000

公益財団生涯学習事業助成要項に基づく審査委員により審査いただき、合計申請10件のうち10件について助成を決定。その後、2件が取り下げとなり、8件に助成金を交付しました。

(5)国際交流事業(亀岡国際交流協会と連携して開催)

事 業 名	実 施 日	内 容	参加者数
国際理解学習 グローバルカフェ	① 7/11(日) ② 10/31(日) ③ 12/19(日) ④ 2/13(日)	市民と在住外国人の交流の場としてグローバルカフェを開催しました。 ゲストにとっては、市民と交流し、自分の国を紹介できる良い機会としました。 ① アメリカ・カナダ独立記念日 ② メキシコのハロウィン ③ 海外のクリスマス ④ 海外のバレンタイン	① 12名 ② 24名 ③ 20名 ④ 中止
ワールドフェスタ2021	6/27 (日)	「姉妹都市・友好交流都市再発見～国境を越えて～」 亀岡市の姉妹都市・友好交流都市を再確認する場として、在中・訪問経験のあるゲストによる各都市の紹介後、グループディスカッションを行い、理解を深めた。	60名

事業名	実施日	内 容	参加者数
ワールドフェスタ2022	2/11 (金)	「いろいろな人 いろいろな考え方～みんないっしょに～」 近年、様々な外国からの技能実習生や外国人住民の方々が増えており、互いのことを知ることを目的に、近隣地域に住む外国人住民と地域住民とがつながる場場として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。	延期
日本語教室	日曜日 年間15回開催	亀岡市内や近隣地域に住む外国人等を対象に日常生活に必要な日本語を習得していただくことを目的に、支援ボランティアにより継続して開催。近年では、企業の技能実習生の増加に伴い、学習者が増加。 <u>*新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講あり</u>	ボランティア 16名 学習者 171名
ドイツ語講座	土曜日 年間31回開催	ドイツ語の学習を通じて文化の学習 <u>*新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講あり</u>	180名
中国語講座	土曜日 年間34回開催 (オンライン含む)	中国語の学習を通じて文化の学習 <u>*新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため休講あり</u>	153名

(6)調査・研究事業

テーマ	調 査 研 究 の 目 的 ・ 方 法
自発的生涯学習活動支援の展開について	財団の生涯学習事業助成制度について、過去の申請・交付状況からその役割と課題について考察し、近隣市町の助成制度との比較も交えて、解決とより効果的な運用方法について調査、研究し、申請書に事業の発展に向けた取り組みを記入する欄を設ける等、実際の制度に反映しました。

(日本漢字能力検定)

事業名	実施日	内 容	申込数	受検数
日本漢字能力検定	8/28 (土)	8月の実施に向け、受検者の申込受付は終了していましたが、緊急事態宣言の発令により中止としました。 例年2回開催していますが、前年度から続けての直前の中止となったため、以降の開催は見送りました。	96名	中止

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	51,462,770	68,681,898	△ 17,219,128
未収金	332,497	39,317,506	△ 38,985,009
流動資産合計	51,795,267	107,999,404	△ 56,204,137
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	86,302,000	78,399,000	7,903,000
特定資産合計	86,302,000	78,399,000	7,903,000
(3) その他固定資産			
什器備品	8	8	0
車両運搬具	1	1	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	136,302,009	128,399,009	7,903,000
資産合計	188,097,276	236,398,413	△ 48,301,137
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	265,290	56,661,512	△ 56,396,222
前受金	0	0	0
預り金	13,018,142	6,845,588	6,172,554
流動負債合計	13,283,432	63,507,100	△ 50,223,668
2. 固定負債			
退職給付引当金	86,302,000	78,399,000	7,903,000
固定負債合計	86,302,000	78,399,000	7,903,000
負債合計	99,585,432	141,906,100	△ 42,320,668
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	38,511,844	44,492,313	△ 5,980,469
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
正味財産合計	88,511,844	94,492,313	△ 5,980,469
負債及び正味財産合計	188,097,276	236,398,413	△ 48,301,137

正味財産増減計算書

令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,800	9,300	△5,500
基本財産受取利息	3,800	9,300	△5,500
② 特定資産運用益	5,231	19,459	△14,228
特定資産受取利息	5,231	19,459	△14,228
③ 事業収益	414,000	283,305,962	△282,891,962
事業収益	414,000	1,024,950	△610,950
入場料収益	0	0	0
受講料等収益	414,000	1,024,950	△610,950
施設利用料収益	0	38,909,012	△38,909,012
施設利用料収益	0	38,909,012	△38,909,012
指定管理料収益	0	243,372,000	△243,372,000
ギャラリーかめおか指定管理料収益	0	243,372,000	△243,372,000
④ 受取補助金等	54,980,212	65,101,941	△10,121,729
受取地方公共団体補助金	54,980,212	65,101,941	△10,121,729
受取民間補助金	0	0	0
⑤ 受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
⑥ 雑収益	0	2,577,504	△2,577,504
雑収益	0	2,577,504	△2,577,504
受取利息	0	0	0
経常収益計	55,403,243	351,014,166	△295,610,923
(2) 経常費用			
① 事業費			
ギャラリーかめおか管理運営費	0	293,764,645	△293,764,645
給料手当	0	37,218,800	△37,218,800
臨時雇賃金	0	8,951,205	△8,951,205
退職給付費用	0	7,962,000	△7,962,000
福利厚生費	0	6,565,219	△6,565,219
退職金	0	14,133,000	△14,133,000
会議費	0	1,900	△1,900
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	0	820,833	△820,833
研修費	0	0	0
減価償却費	0	29,678	△29,678
消耗什器備品費	0	6,830,120	△6,830,120

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
消耗品費	0	4,064,293	△4,064,293
修繕費	0	12,352,965	△12,352,965
印刷製本費	0	119,625	△119,625
燃料費	0	7,497	△7,497
光熱水費	0	42,817,678	△42,817,678
賃借料	0	4,955,097	△4,955,097
保険料	0	869,360	△869,360
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	7,922,750	△7,922,750
支払負担金	0	92,000	△92,000
委託費	0	137,868,288	△137,868,288
雑費	0	182,337	△182,337
ガレリアかめおか事業費	36,655,770	64,992,821	△28,337,051
給料手当	23,335,528	27,781,472	△4,445,944
臨時雇賃金	0	955,656	△955,656
退職給付費用	3,341,000	8,064,000	△4,723,000
福利厚生費	4,208,348	4,494,240	△285,892
退職金	0	15,869,000	△15,869,000
会議費	29,118	25,632	3,486
旅費交通費	66,334	6,200	60,134
通信運搬費	127,399	209,257	△81,858
減価償却費	0	40,352	△40,352
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	73,149	238,724	△165,575
印刷製本費	487,140	830,121	△342,981
燃料費	10,287	5,387	4,900
賃借料	4,800	5,000	△200
支払手数料	0	0	0
広告宣伝費	11,550	16,550	△5,000
保険料	4,300	3,250	1,050
諸謝金	1,756,222	1,513,900	242,322
租税公課	2,000	2,000	0
支払助成金	701,000	608,000	93,000
委託費	2,461,350	4,298,760	△1,837,410
原材料費	0	0	0
雑費	36,245	25,320	10,925
② 管理費			
財団管理費	24,727,942	24,845,898	△117,956
役員報酬	322,000	312,800	9,200
給料手当	9,298,498	18,698,843	△9,400,345

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
退職給付費用	4,562,000	1,279,000	3,283,000
福利厚生費	1,604,454	3,126,084	△1,521,630
報償費	70,000	30,000	40,000
交際費	13,800	15,500	△1,700
会議費	1,500	1,818	△318
旅費交通費	0	2,780	△2,780
通信運搬費	219,864	9,006	210,858
研修費	0	0	0
減価償却費	0	51,776	△51,776
消耗什器備品費	392,458	0	392,458
消耗品費	429,154	4,021	425,133
修繕費	15,800	52,850	△37,050
印刷製本費	0	0	0
燃料費	25,455	2,719	22,736
光熱水費	134,212	0	134,212
賃借料	949,877	539,710	410,167
保険料	53,640	74,410	△20,770
諸謝金	27,600	27,600	0
租税公課	6,064,550	96,100	5,968,450
支払負担金	121,487	194,319	△72,832
委託費	392,876	323,400	69,476
雑費	28,717	3,162	25,555
経常費用計	61,383,712	383,603,364	△322,219,652
当期経常増減額	△5,980,469	△32,589,198	26,608,729
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	30,002,000	△30,002,000
経常外収益計	0	30,002,000	△30,002,000
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	30,002,000	△30,002,000
当期経常外増減額	0	30,002,000	△30,002,000
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△5,980,469	△2,587,198	△3,393,271
一般正味財産期首残高	44,492,313	47,079,511	△2,587,198
一般正味財産期末残高	38,511,844	44,492,313	△5,980,469
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	88,511,844	94,492,313	△5,980,469

正味財産増減計算書（内訳表）
令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで

(単位:円)

勘定科目	公益事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	0	3,800	3,800
②特定資産運用益	0	5,231	5,231
③事業収益	414,000	0	414,000
入場料収益	0	0	0
受講料収益	414,000	0	414,000
施設利用料収益	0	0	0
指定管理料収益	0	0	0
④受取補助金	36,241,770	18,738,442	54,980,212
受取地方公共団体補助金（亀岡市）	36,241,770	18,738,442	54,980,212
受取民間補助金	0	0	0
⑤受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑥雑収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	36,655,770	18,747,473	55,403,243
(2) 経常費用			
①事業費	36,655,770	0	36,655,770
給料手当	23,335,528		23,335,528
臨時雇賃金	0		0
退職給付費用	3,341,000		3,341,000
福利厚生費	4,208,348		4,208,348
退職金	0		0
会議費	29,118		29,118
旅費交通費	66,334		66,334
通信運搬費	127,399		127,399
研修費	0		0
車両運搬具減価償却費	0		0
什器備品減価償却費	0		0
消耗什器備品費	0		0
消耗品費	73,149		73,149
修繕費	0		0
印刷製本費	487,140		487,140
燃料費	10,287		10,287
光熱水料費	0		0
賃借料	4,800		4,800
手数料	0		0
広告宣伝費	11,550		11,550
保険料	4,300		4,300
諸謝金	1,756,222		1,756,222
租税公課	2,000		2,000
支払負担金	0		0
支払助成金	701,000		701,000
委託費	2,461,350		2,461,350
原材料費	0		0
雑費	36,245		36,245

勘定科目	公益事業	法人会計	合計
②管理費	0	24,727,942	24,727,942
役員報酬		322,000	322,000
給料手当		9,298,498	9,298,498
退職給付費用		4,562,000	4,562,000
福利厚生費		1,604,454	1,604,454
報償費		70,000	70,000
交際費		13,800	13,800
会議費		1,500	1,500
旅費交通費		0	0
通信運搬費		219,864	219,864
研修費		0	0
車両運搬具減価償却費		0	0
什器備品減価償却費		0	0
消耗什器備品費		392,458	392,458
消耗品費		429,154	429,154
修繕費		15,800	15,800
印刷製本費		0	0
燃料費		25,455	25,455
光熱水費		134,212	134,212
賃借料		949,877	949,877
保険料		53,640	53,640
諸謝金		27,600	27,600
租税公課		6,064,550	6,064,550
支払負担金		121,487	121,487
委託費		392,876	392,876
雑費		28,717	28,717
経常費用計	36,655,770	24,727,942	61,383,712
当期経常増減額	0	△ 5,980,469	△ 5,980,469
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 5,980,469	△ 5,980,469
一般正味財産期首残高			44,492,313
一般正味財産期末残高			38,511,844
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			50,000,000
指定正味財産期末残高			50,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高			88,511,844

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、車両運搬具について、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	78,399,000	7,903,000	0	86,302,000
小 計	78,399,000	7,903,000	0	86,302,000
合 計	128,399,000	7,903,000	0	136,302,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	86,302,000	—	(0)	(86,302,000)
小 計	86,302,000	(0)	(0)	(86,302,000)
合 計	136,302,000	(50,000,000)	(0)	(86,302,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	6,321,069	6,321,061	8
車両運搬具	934,500	934,499	1
合 計	7,255,569	7,255,560	9

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 亀岡市補助金	亀岡市	0	54,980,212	54,980,212	0	—
合 計		0	54,980,212	54,980,212	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	78,399,000	7,903,000	0	0	86,302,000

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	普通預金	京都銀行亀岡支店 No.914576	運転資金として	51,462,770		
		京都銀行亀岡支店 No.3242386	運転資金として	0		
		京都銀行亀岡支店 No.3355274	運転資金として	0		
		京都信用金庫亀岡支店 No.0531710	運転資金として	0		
		京都北都信用金庫亀岡支店 No.1078155	運転資金として	0		
		〈現金預金計〉	51,462,770			
	未収金	一社)かめおかコンベンションビューロー	公益目的事業の未収金	332,497		
		〈未収金計〉	332,497			
流動資産合計				51,795,267		
(固定資産)	基本財産	定期預金	京都銀行亀岡支店	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000	
			京都信用金庫亀岡支店	//	10,000,000	
			京都中央信用金庫亀岡駅前支店	//	10,000,000	
			京都北都信用金庫亀岡支店	//	10,000,000	
			京都農業協同組合亀岡中央支店	//	10,000,000	
				〈基本財産計〉	50,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	京都銀行亀岡支店	退職給付引当金の支払い財源として積み立て	36,504,000	
			京都信用金庫亀岡支店	//	22,000,000	
			京都中央信用金庫亀岡駅前支店	//	12,798,000	
			京都北都信用金庫亀岡支店	//	15,000,000	
			〈特定資産計〉	86,302,000		
	その他固定資産	什器備品	パソコン、プリンタ等	公益目的保有財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務で使用している共用財産	8	
			車両運搬具	公用車1台(軽自動車)	//	1
					〈その他固定資産計〉	9
	固定資産合計				136,302,009	
資産合計				188,097,276		
(流動負債)	未払金	京都銀行等	公益目的事業の未払金	265,290		
				〈未払金計〉	265,290	
	前受金	亀岡市		〈前受金計〉	0	
			補助金返還金	11,366,788		
	預り金		京都西年金事務所等	職員社会保険料等	1,651,354	
		〈預り金計〉	13,018,142			
流動負債合計				13,283,432		
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	86,302,000		
固定負債合計				86,302,000		
負債合計				99,585,432		
正味財産				88,511,844		